

2. 課外活動サークル所属（体育系）学生への 保健・衛生指導

保健管理センターの利用状況をみると、外傷、打撲、捻挫、および救急用かばんの貸出は、課外活動サークル中、特にラグビー、サッカー、アメリカンフットボール、柔道部、などのはげしい運動のサークルで頻繁である。

このような現状の対策として、当センターでは、昭和60年に附属病院より外科医師を、平成元年には整形外科医師を、学校医としてむかえ外科的処置やスポーツ外傷の相談等に対応してきました。

本年度は当センターの学校医（整形外科医師）である川原範夫先生にお願いし、学生部の協力もえて、アメリカンフットボール部員を対象とした講習会を行いました。

演題 スポーツによる外傷について

日時 平成2年2月6日

場所 保健管理センター

出席者 33名

講習内容は、つき指、脱臼、骨折、筋肉痛、腰痛、について、その原因、治療方法等、スライドを用いて実例を示しながらの講演であった。

スポーツ開始前の準備運動が重要であること、ウエイト・トレーニングをバランスよくおこなうことが必要であること、などが対策として示された。また、講演後も熱心な質疑応答がおこなわれ、学生からは大変な好評が寄せられた。

